



安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当

TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成29年12月19日
SDS整理番号 16226140

製品等のコード : 1622-6140

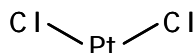
製品等の名称 : 塩化白金() (別名: 塩化第一白金)

推奨用途 : 試薬

参考: その他の用途(当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。)
触媒原料、めっき など



2. 危険有害性の要約



GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
自然発火性固体 : 区分外
自己発熱性化学品 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分5 【国連GHS分類】
皮膚腐食性・刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ(経口)
皮膚刺激
強い眼刺激

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

【保管】

直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品

化学名 : 塩化白金()
(別名) 塩化第一白金、塩化白金
(英名) Platinum() chloride、Platinum chloride、
Platinum dichloride (EC名称)、
Platinum chloride (PtCl₂) (TSCA名称)
成分及び含有量 : 塩化白金()、73.0%以上 (Pt含量として)
化学式及び構造式 : PtCl₂、Cl₂Pt、構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量 : 265.99
官報公示整理番号 化審法 : (1)-1145
安衛法 : 公表化学物質(化審法番号を準用)
CAS No. : 10025-65-7
EC No. : 233-034-1
危険有害成分 : 塩化白金()

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。
皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ。
皮膚を多量の水と石鹼で洗う。
皮膚刺激などが生じた時は、医師の診断、手当てを受ける。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合 : 直ちに、水で15分以上注意深く洗う。その際、顔を横に向けてから
ゆっくり水を流す。水道の場合、弱い流れの水で洗う。
まぶたを親指と人さし指で拡げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの
隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続ける。
飲み込んだ場合 : 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。
口をすすぎ、うがいをする。
大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状：情報なし

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は燃焼しない。
周辺火災に応じた消火剤を使用すること。
散水、噴霧水、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤 : 棒状放水(本品があふれ出て、生物に対する有害性を引き起こすおそれがある。)
特有の危険有害性 : 火災時に熱分解して刺激性、有毒ヒュームが発生するおそれがあるため、
消火活動中に煙を吸引しないようにする。
特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
風上から消火活動をする。
環境に影響を出さないよう、できるだけ流出を防止する。
消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
危険な現場を分離して無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。
作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
風上に留まる。
低地から離れる。
密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和 : 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
後処理として、漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す。
封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策 : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 : 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
粉じん、ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
粉じんの堆積を防止する。
局所排気・全体換気 : 必要に応じて、換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
接触、吸入又は飲み込まない。

	皮膚、粘膜等に触れると、炎症を起こすことがある。 目や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付ける。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。
接触回避	: 湿気、水、高温体との接触を避ける。
保管	
技術的対策	: 採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質	: 強酸化剤
保管条件	: 直射日光を避けて冷暗所に保管する。 容器を密閉して保管する。
容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラスなど

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 未設定
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):	
日本産衛学会(2017年版)	未設定
ACGIH(2017年版)	TWA 0.002mg/m3(白金として)
設備対策	: この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なう。 高熱取扱いで、工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 呼吸器保護具(防塵マスク)を着用する。
手の保護具	: 保護手袋(塩化ビニル製、ニトリル製など)を着用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9.物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 灰褐色～褐色の粉末
臭い	: 無臭
pH	: 酸性(水分散液)
融点	: 分解(581)
沸点	: データなし
引火点	: 不燃性
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気 = 1)	: データなし
比重(密度)	: 6.05
溶解度	: 王水、熱塩酸に溶ける。 水、硫酸、硝酸、エタノール、エチルルエーテル、酢酸エチル、ピリジンに溶けない。
オクタノール/水分係数	: データなし
自然発火温度	: 不燃性
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
GHS分類	
可燃性固体	: 本品は不燃性であることから、区分外とした。
自然発火性固体	: 本品は不燃性であることから、区分外とした。
自己発熱性化学品	: 本品は不燃性であることから、区分外とした。

10.安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 熱、日光
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 火災時に有毒なハロゲン化物、白金のフューム、ガスを放出する。

11.有害性情報

急性毒性	: 経口 ラット LD50 = 3423mg/kg (RTECS) に基づき、区分5とした(国連GHS分類)。 ただし、分類JISでは区分外である。 飲み込むと有害のおそれ(経口)(区分5) 経皮 データがないため分類できない。 吸入(蒸気) データがないため分類できない。
------	--

皮膚腐食性・刺激性 : 吸入(粉塵)データがないため分類できない。
 ウサギ 100 mg/24H 軽度 (RTECS) から、区分2とした。
 皮膚刺激(区分2)
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 眼に入ると強い刺激があることから、区分2 Aとした。
 強い眼刺激(区分2A)
 呼吸器感受性又は皮膚感受性 : 情報がないため分類できない。
 生殖細胞変異原性 : 知見がないため分類できない。
 発がん性 : IARC、ACGIH、NTP、EPAに記載がないので、分類できない。
 生殖毒性 : データがないため分類できない。
 特定標的臓器・全身毒性
 (単回ばく露) : データがないため分類できない。
 特定標的臓器・全身毒性
 (反復ばく露) : データがないため分類できない。
 吸引性呼吸器有害性 : 情報がないため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性 : データがないため分類できない。
 水生環境慢性有害性 : データがないため分類できない。
 オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
 都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して廃棄物処理を委託する。
 廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄してはいけません。
 (参考) 焙焼法
 還元焙焼法により金属白金として回収する。
 汚染容器及び包装 : 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

緊急時応急処置指針番号 : 154

国際規制

海上規制情報(IMDGコード/IMOの規定に従う)

UN No. : 3260
 Proper Shipping Name : CORROSIVE SOLID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S.
 (Platinum dichloride)

Class : 8(腐食性物質)

Sub risk : -

Packing Group : III

Marine Pollutant : No(非該当)

Limited Quantity : 5kg

航空規制情報(ICA0-TI/IATA-DGRの規定に従う)

UN No. : 3260
 Proper Shipping Name : Corrosive solid, acidic, inorganic, n.o.s.
 (Platinum dichloride)

Class : 8

Sub risk : -

Packing Group : III

国内規制

陸上規制情報(特段の規制なし)

海上規制情報(船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規則/船舶による危険物の運送基準等を定める告示に従う)

国連番号 : 3260

品名 : その他の腐食性物質(無機物、固体、酸性のもの)

クラス : 8(腐食性物質)

副次危険 : -

容器等級 : III

海洋汚染物質 : 非該当

少量危険物許容量 : 5kg

航空規制情報(航空法/航空法施行規則/航空機による爆発物等の輸送基準を定める告示に従う)

国連番号 : 3260

品名 : その他の腐食性物質(無機物、固体、酸性のもの)

